



5月号 第55号

発行日 : 2021年4月16日

発行 : 虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

☎ 079-236-3224

黄砂と 春がすみで、ぼやーとした景色に包まれ、なんだか頭の中身もぼやーとした感じになります。 まっこと春ですなあ。

タイトルバックはゲンゲ（レンゲソウ）とセイヨウミツバチです。 昔はこの時期、田んぼ一面のゲンゲ畑が広がっていたのが春の光景でした。 ゲンゲは空気中の窒素を多く取り込むのでとても良い肥料になっていたのです。 今はそれが化学肥料にとって代わり、見られなくなっちゃったというわけで春の風物が又ひとつなくなり寂しい限りです。



こちらは、先月紹介したクロジのオスです。 どうです？確かに、黒とグレーのシックな装いでしょ。 茶系のメスと並べばちょっとスタイリッシュなカップルなのではと思います。

下は、虹の森にも自生するフデリンドウです。 陽が当たっている時にしか花は開かず、夜はもちろん、



曇天・雨天もキュッと閉じています。 その閉じた姿が筆先の形状に似ているので、この名前が付けられました。



これは落葉低木のキブシです。 枝から垂れ下がる房状の花が特徴です。 元は、タンニンを主成分とした黒の染料に使われてきたフシ（五倍子）の代用品とされたことにちなんでいます。 フシは昔のお歯黒の染料ですね。



このフィギュアスケートのような華麗なスタイルはイカリソウの花です。 花の形が、船の錨のように見えることから由来していますが、花言葉は「あなたを離さない」。 また昔から精力剤としての薬効が知られており、これを食べた羊が精力絶倫になったという伝説も。 これを聞くとちょっと、食べたいような、怖いような・・・興味津々です。

環擁爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

略して“まん防”。まん防と聞けばご年配の方にゃ う〜っ♪**まん防！！**って歌っちゃうような響きじゃな。



もう、ここまで迷走して来るとまるでギャグみたいに聞こえるのは、わしだけか。3月号でもつぶやいたが、日本では、コロナはパンデミックまで至っておらん。それにはほど遠い状況じゃ。パンデミックに陥った欧米に影響され、大騒ぎとなっておる。これは行政とマスコミの情報操作のせいじゃと思うがな。感染や死亡者は人数ではなく、率で表わさなきゃな。さすれば、通常の突然死よりはるかに低い確率だと分かるじゃろう。病床ひっ迫率にしても、率ではなく何床分の何床と、これは数字で表わさなきゃ。そうすると、なんでこんなに病床数が少ないのか気づかされるじゃろう。

病床数が圧倒的に少ないのはなぜじゃ？ それ
は、コロナが感染症法で定める「二類感染症」に指定されてたからなのじゃ。「二類感染症」とは、結核やポリオなどの重篤な症状を引き起こす感染症で、これらを治療できる病床はごく限られた大病院などに限定されているのじゃ。普通の一般病院ではコロナ

怖しで一般外来が来なくなり、閑古鳥が鳴くほど経営が危ぶまれている所さえあるようじゃ。この「二類感染症」指定を、インフルや麻疹、風疹などの「五類感染症」に指定替えすれば、一般の病院での治療も可能で、中〜軽度の患者らの病床ひっ迫の問題は一挙に解決するじゃろうがな。

コロナの死亡者数・死亡率は、インフルより低い。しかも圧倒的にそれらは高齢者が多いので、寿命と言えなくもない症例も少なくないはずじゃ。最終の死因がコロナだったということもあるじゃろ。この1年間のデータをしっかり理解したら、そう判断できると思うがな。

わしの子供のころは、石油はあと40年したら枯渇して無くなると聞かされておった。化学肥料で育った食物を食べ続けると晩年に早死にすると聞かされた。合成着色剤や防腐剤、化学調味料は毒だ、は耳にタコができるほどだ。自然由来は身体にやさしく、化成品は害毒だと・・・

ところがじゃ、あれから50年以上経つても、石油・石炭が枯渇するどころか、800年あるとか1万年は大丈夫とか言われ・・・。化学肥料は農業の生産性を飛躍的に高め、安くて安全・安心な食材を提供してくれておる。合成着色料とか化学調味料をバッカバカ食べて育ったわしじゃが、それが故の健康障害を発した記憶もない。自然の事を知れば知るほど、本当の害毒は実は自然由来の物が圧倒的に多いことに気づかされる。毛虫、蜂、へび、キノコ、樹木の実、フグ・・・、自然は過激な競争・戦いの場じゃ。みな、自分の生存を確保して子孫を残すため、敵を駆逐する強力な毒を隠し持っているのが当たり前。自然由来はいかに毒が多いか。自然由来だから体に優しいなんて誰が言えよう。

話は変わるが、NHKの連続テレビ小説いわゆる朝ドラを、わしや逃さず見ておるのじゃが、先の大戦をまたいだ舞台が多いのはご存知じゃな。その激動の戦中の演出が、最近はやけにリアルじゃと思う。ど

うリアルかと言うとな、当時の全体主義的な空気、主人公たちが政府とマスコミによる戦意高揚に翻弄される様がリアルなのじゃ。戦争に反対する者などいない。一昔前のドラマなら、主人公は戦争に反対で日本は負けると声高に言うのじゃが、ここ最近の朝ドラではそんなキャラクターはあまり出てこない。それが本当じゃと思う。民衆は、行政とマスコミ(=大量大衆情報伝達)の操作で簡単に全体主義に毒されてしまう弱い存在なのじゃ。



全体主義は怖いぞ。かのヒトラー率いるナチスドイツは国民が正当な民主主義の過程を経て、国民の総意として誕生させた全体主義国家じゃ。ナチスドイツが犯した国家犯罪は周知のとおりじゃが、当時のドイツ国民に異を唱える者はごくまれじゃったはずじゃ。

今の日本のコロナ対策と、脱炭素対策は、まさに全体主義的じゃないかの。国会では野党も与党も共産党も、みーんな「コロナ怖い」の一強じゃ。脱炭素についてもそう、異を唱える政党など皆無じゃ。これはもう大政翼賛会の再来ではないのか。まんえん防止法も脱炭素社会構築法も、国家総動員法の様相を呈しておると感じるのはわしだけか？

大本営発表と新聞社の戦意高揚の偏った煽りに踊らされた当時のことを、今、コロナで右往左往している我々が批判できるかの？

ま、わしはただの環境爺じゃから、これ以上はこの

問題に突っ込むのは控えることとしよう。ただ言えることは、政府発表やマスコミ報道を鵜呑みにせず、何度も言うが「しっかりと自分の頭で考えること」が大事ということじゃ。決して思考停止してはいかん。コロナも然り、脱炭素も然りじゃ。

さっきの、わしが子供のころに聞いていた常識は50年経った今、そうはなっていないなかったという話をしたが、しかし、わしが子供の時分に公害は確かにそこにあった。車は煙を出して走っておったし、工場地帯は恐ろしいほど臭くて、目が開けられないほど大気が汚染されていた。川はヘドロまみれで異臭を放ち、産廃も家庭ごみも川に投げられるのも珍しくはなかった。当然、下水は完備されておらず、生活排水も直接溝に流すだけで町中至る所、どぶ臭かった。光化学スモッグ警報が出たら学校では慌てて教室へ入ったり、又、下校できるのがうれしかった。海岸はゴミだらけ、赤潮で真っ赤な海に入って彼女と海水浴を楽しんだものじゃ。

それが今はどうじゃ、どぶ臭い溝もなく、車が煙を出して走ることもほぼない。工場地帯でも臭いにむせることもなく、工場排水は厳格に処理され、逆に川は栄養素が無くなるほど清浄になった。これは公害防止の飽くなき活動が実を結んだ輝かしい成果じゃ。人間社会はこの実績を誇ってよいと思うのお。

公害問題から環境問題に趣旨が変えられてから30年近く経つが、公害のように分かりやすい解決対象が無いのが環境という概念の弱い所じゃ。その弱さが、環境活動を活動のための活動、つまり社会主義や共産主義の活動と同様の社会活動になっちまっているように思うがな。

脱炭素なんてもう環境問題と言うより、国際的な政治・経済問題となってしまうお。それが温暖化を止めるかどうかは、もはや議論の中心におらず、それによって誰が経済的勝者になるかが衆目の的じゃ。じゃからわしは、今しばらく脱炭素についてつぶやくのは差し控える。環境爺が政治・経済についてしゃべくと疲れる。コロナについてもじゃ。

ぶつぶつ

虹の森なう

この日は、とても暖かな春の活動となりました。新緑はまだ出そろってはいませんが、鳥のさえずりがやかましくらいです。ウグイスはもちろん、センダイムシクイの「ショーチューイッパイグイーツ」もよく聴こえます♪



ひとまず板伏せしておいたシイタケ原木をウマに立てかける作業を行いました。栽培地の保護ネットがちょっと傷んできて、シカにシイタケを根こそぎ食べられちゃいそうなので、次はネットを補修しなくちゃいけません。



その後、虹の森に移動して、虹の森全体の下草刈りと芽吹いた照葉樹林の幼木を仮払い、それから、尾根筋の遊歩道整備作業へと進めます。

長期造成していた尾根筋の遊歩道（結構きついバリエーションルート）も、いよいよ頂上まであと60～70mにまで近付いて来て完成まであと少し、否が応でも力が入ります。

お昼のお弁当タイムのあと、午後は全員で遊歩道のゴールである頂上展望台まで登ってみました。この展望台はなかなかの眺めで、登山でかいた汗を心地よく冷やしてくれます。春の息吹と小鳥のさえずり、新緑のむせるような匂いが、えも言われぬさわやかな気分させてくれるのでした。頂上でのワイワイと楽しい語らいの後、作業をしながら下山し、今回はお開きとなりました。



若手メンバーの伊藤君、今回もなかなかの馬力で整備を進めてくれましたが、マダニになると2カ所もやられてたとか。春の作業は、防虫スプレーなど念入りだね。たしか彼、以前もマダニにやられてなかったっけ？ マダニさんに好かれるタイプなの？

第67回 森林整備の案内と参加者募集

5月はもう春ど真ん中。新緑も出そろって美しい黄緑色に光る森での作業。鳥も虫もカエルも喜び、多くの草花も元気いっぱい。森の英気を全身で浴びに行きましょう。リフレッシュできること請け負います。なにしろ森は生命のエネルギーにあふれていますから。

日時： 5月15日（土） 10：00～15：00（9：30公園駐車場集合）

場所： 県立ゆめさきの森公園（虹の森）

申し込み： 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止の案内を送信いたします。